

鹿笛　　＝ ＝ ＝　　三州横山話より

猟師が持つ鹿笛を造るについて、こんな話があります。それは麩（ガマ・ヒキガエル）の皮が最もいいと言って、まず最初になるべく大きな麩を見つけて、その皮を剥いで逃がしてやると言います。そして一年経ってから、また同じ麩を見出して二度目の皮を剥ぐと言います。かくて皮を剥ぎ剥ぎ、同じことを六年繰り返して、七年目に出来た薄い皮を剥いで、その皮で造った鹿笛を吹けば、如何に狡猾な鹿でも、その音に誘われて来ると言います。皮を剥がれる麩の方でも心得たもので、皮を剥がれ出して、三年目頃からは、皮を剥がれるべく、剥がれた場所へ、自分から出かけて待っているなどと言います。

いくらなんでも

そんなガマはおらへんがまー。

